日本観光研究学会・関西支部ニューズレター

写真：堺市の新観光拠点「利晶の杜」の茶室お点前体験（撮影:小長谷）

観光学

第5号　2016年度（2017年3月発行）

JITR-Kansai No.5

Japan Institute of Tourism Research

★日本観光研究学会・関西支部（JITR-Kansai）ホームページ→【 http://www.kankoryoku.jp/ 】
ニューズレター『観光学』第５号　2016年度（2017年3月発行）

1. 2016（平成28）年度関西支部活動をふりかえって（支部長　国枝よしみ）

2016年度は「関西の“食の魅力”と“観光”を考える」意見交換会（５月）でスタートし、中四国における「現地研修会」（９月、松山市）が実現しました。秋にはNPO観光力ネットと『地域創造のための観光マネジメント講座』(学芸出版社）を発行、地区懇話会（２月、堺市）では堺市長にご登壇いただき、観光の議論が活発に行われました。今後も皆さまのご協力を得て地域を軸に多彩な活動を展開してまいります。

2. 2016（平成28）年度の活動を振り返って（副支部長　前田武彦）

私たちは今、地震・津波・異常気象などの巨大災害や大規模事故の可能性とつねに向き合い、あるいは国際紛争やテロなどの平和阻害要因も現実化しつつある、リスク管理社会に生きています。このような時代にこそ、人々に希望と復興への活力をあたえ、また社会全般を活性化させうる、観光による強いチカラ――観光力が必要とされるのではないでしょうか。

3. 支部活動１『関西支部総会』+『第13回　意見交換会：関西から観光立国・立圏を考える』「関西の“食の魅力”と“観光”を考える」

【日　　時】2016年５月21日（土）総会11：00 ～ 12：00、意見交換会13：00 ～ 17：00
【会　　場】阪南大学あべのハルカスキャンパス
【総会議案】2013年度活動報告および収支決算、2014年度活動計画および収支予算の承認
【意見交換会テーマ】「関西の“食の魅力”と“観光”を考える」
【意見交換会プログラム】

（1）開会挨拶（13：00 ～ 13：05）日本観光研究学会関西支部長　国枝よしみ。（2）特別講演（13：10 ～ 13：40）『関西における観光立国推進への取り組み』福西謙氏（国土交通省近畿運輸局企画観光部長。（3）基調講演（13：40 ～ 14：30）『美食都市と大阪』尾家建生氏（大阪府立大学観光産業戦略研究所客員研究員）。（4）パネルディスカッション（14：45 ～ 16：30）『食の魅力を関西から世界へ発信』○パネリスト：尾藤環氏（辻調理師専門学校）。王静氏（大阪観光大学観光学部専任講師）、ダニエル・ミルン氏（京都大学大学院人間・環境研究科）、李美花氏（大阪成蹊大学マネジメント学部准教授）。○コーディネータ：高田剛司（株式会社地域計画建築研究所）。（5）意見交換（16：30 ～ 17：00）参加者との質疑応答・情報提供。（6）交流会（17：30 ～ 19：30）。参加者112名、懇親会27名と盛況でした。

４．支部活動２『地区懇話会』「堺の観光を考える」

【日　　時】2017年２月11日（土・祝）９：30集合～まちあるき、13：30 ～基調講演・シンポジウム
【会　　場】堺伝統産業会館（大阪府堺市堺区材木町西１丁１－30）
【テ ー マ】「堺の観光を考える」
【プログラム】
（1）阪堺電車乗車体験（まち歩き　集合）９：30：新しくなった阪堺電車「天王寺駅前駅」に集合、「大小路駅」下車。（2）10：00 ～ 12：00：堺観光ボランティア協会　理事長　川上様のガイドによるまち歩き（山之口商店街→開口神社→利晶の杜（利晶の杜での入館料＋呈茶））。（3）13：30 ～ 14：10：基調講演「歴史文化を基軸としたこれからの堺観光」竹山修身市長。（4）14：45 ～ 16：40：シンポジウム：「産業都市の観光戦略」○パネリスト：藤田卓也氏（堺市文化観光局観光部部長）、川上浩氏（NPO法人堺観光ボランティア協会理事長）、柴信氏（NPO法人観濠クルーズSakai）、○コーディネータ　日本観光研究学会関西支部長・大阪成蹊短期大学副学長・観光学科長教授　国枝よしみ。（5）16：40 ～ 17：00：会場内自由観覧後、バスで移動。17：45 ～ 19：45：懇親会（梅の花：利休懐石など）。**【概要】**午前中はNPO法人堺観光ボランティア協会の川上浩理事長のガイドのもと、阪堺線大小路電停を出発し、山之口商店街や開口神社などを巡ったあと、利晶の杜でお点前体験をするエクスカーションが行われました。午後からは堺伝統産業会館において、竹山修身堺市長による「歴史文化を基軸としたこれからの堺観光」と題する基調講演がありました。続いて、堺市文化観光局観光部の藤田卓也部長、NPO法人堺観光ボランティア協会の川上浩理事長、NPO法人観濠クルーズSakaiの柴信氏の３名をパネリストに迎え、国枝よしみ支部長をコーディネータとするシンポジウムが行われ、「産業都市の観光戦略」について議論を交わしました。終了後には利晶の杜にある「梅の花」で参加者による懇親会が行われ、交流が深められました。

５．支部活動３「観光学研究部会」

（１）第１回観光学研究部会

【日　　時】2016年７月26日（火）19：00 ～
【会　　場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）
【テ ー マ】「道後温泉と由布院温泉の現状と課題」
【講　　師】米田誠司氏（愛媛大学法文学部准教授）

（２）第２回観光学研究部会

【日　　時】2016年10月25日（火）19：00 ～
【会　　場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）
【テ ー マ】「産業廃棄物を活用した新しい観光商品開発～モーリシャス・パームリーフプロジェクトの可能性～」
【講　　師】板垣順平氏（神戸大学篠山フィールドステーション学術研究員／篠山市地域おこし協力隊コーディネータ）

（３）第３回観光学研究部会

【日　　時】2016年12月20日（火）19：00 ～
【会　　場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）
【テ ー マ】「中国の農村開発における観光経営体とリーダーの役割ー吉林省長春市双営子回族郷尹家村を事例にしてー」
【講　　師】髙田晋史氏（島根大学生物資源科学部助教）

６．支部活動４「観光サロン」

（１）第１回観光サロン

【日　　時】2017年１月24日（火）19：00 ～
【会　　場】大阪市立大学文化交流センター（梅田）
【テ ー マ】「伝統産業における革新」
【講　　師】西山周三氏（株式会社 西山酒造場　代表取締役社長）

７．支部活動５『中四国現地研修会・フォーラム』

【日　　時】2016年９月22日～ 23日
【会　　場】松山市

【ご 報 告】日本観光研究学会関西支部では、特に中四国地域の研究者の交流・調査研究のための中四国研修会をおこなっております。2014年度におこないました高知（黒潮町の砂浜美術館）につづき、2016年度は松山にて第２回目の中四国研修会を開催いたしました。今回は、松山市内で、まちづくりの進む三津浜地区、道後温泉の見学、行政との政策ヒアリング、松山市内見学などを、支部からは８名の参加で敢行いたしました。**【2016年９月22日（木）】**（1）三津浜地区のリノベーション事例である鯛めし専門店「鯛や」にて、空路組と陸路組で合流し昼食　http://taimesi.net/　（11：30 ～ 12：30）。（2）三津浜地区リノベーション事例視察（12：30 ～ 14：00）米田先生のほか、「コトラボ合同会社」の岡部友彦氏、山田氏（拠点がミツハマル）らにご案内いただきました。三津浜地区 http://www.mitsuhamaru.com/　1）拠点となっている「ミツハマル」、2）アクセサリー店「Bitter&Sucre」、3）大正レトロの建築「旧濱田医院」、4）何十種類もかき氷を出す店「島のモノ喫茶 田中戸」などを見学。（3）三津浜より伊予鉄道の「坊ちゃん列車」で道後温泉へ移動（14：19 ～ 15：20）。（4）道後温泉街視察（15：30 ～ 17：00）道後温泉地区 http://www.dogo.or.jp/pc/　1）第１外湯「本館」、2）第２外湯「椿の湯」。（5）交流会（19：00 ～ 21：00）自然栽培農法食材の店「じい家」にて夕食。**【2016年９月23日（金）】**（1）松山市役所にて観光まちづくり政策ヒアリングと意見交換（９：30 ～ 11：00）。担当の中矢博司課長より、「道後温泉活性化マスタープラン」「道後温泉本館耐震補強計画」「第３外湯計画」「道後オンセナート（アートイベント）」などの政策をうかがい、意見交換をおこないました。（2）昼食（11：30 ～ 12：00）松山名物のオールシーズンで食べる甘い鍋焼きうどんの店「アサヒ」にて昼食。（3）自由見学（12：00 ～ 14：30）松山城・坂の上の雲ミュージアム・大街道商店街ほか ⇒ ***★最終ページにも写真***

８．支部活動６　関西支部幹事会開催記録（2016年度）

第１回　2016年４月26日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第２回　2016年５月24日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第３回　2016年６月28日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第４回　2016年７月26日（火）18：00 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第５回　2016年９月27日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第６回　2016年10月25日（火）18：00 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第７回　2016年11月22日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第８回　2016年12月20日（火）18：00 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第９回　2017年１月24日（火）18：00 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第10回　2017年２月28日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）
第11回　2017年３月28日（火）18：30 ～　会場：大阪市立大学交流文化センター（梅田）

９．支部活動７　NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」の応援と協働

（１）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（理事長挨拶）桑田政美

NPO観光力ネット（通称）の事業の重要な柱である「地域創造のための観光マネジメント講座」は、第１回の2006年以降毎年開講を重ねてきましたが、今年、講座の内容をまとめ出版いたしました。また、観光を学ぶ学生の研究発表大会も参加校が増え、産学連携プロジェクトも着々と成果をあげつつあります。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（２）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（副理事長挨拶）国枝よしみ

2016年度は、「地域創造のための観光マネジメント講座」の開催が10回を越えたことから、その実践手法を学ぶテキストとして、また大学の教材として活用できるよう、『地域創造のための観光マネジメント講座』(学芸出版社）を出版しました。学生協議会による活動や研究発表も例年より増加し、今後さらに活性化することを期待しています。

（３）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」今年を振り返って（副理事長挨拶）森山正

当NPOは多彩なプログラムを通して、社会人の方々や学生の皆さんの人材育成や教育支援の活動を続けています。特に11年間連続する地域創造、マーケティングなどの実践的な公開講座は高い評価を得ています。また、NPO学生会員を中核とした産官学の協同活動では、兵庫県の城崎温泉や佐用町の活性化に取組み、戦略構築から実行プランの設計までを行い成果を挙げています。蓄積した経験値は今後の大きな成長力になります。

（４）第11回「地域創造のための観光マネジメント講座」の開催

【日時】2017年１月７日、１月21日、１月28日、２月４日の４日間。【会場】梅田・大阪駅前第２ビル６階大阪市立大学文化交流センター、最終回だけ同15階 イオンコンパス大阪駅前会議室。【プログラム】【ステップ１：地域創造型観光の基盤：地域資源の再発見と再評価の方法】第１回１月７日（土）10：00 ～ 11：10「「地」の観光としてのエコミュージアム」阪南大学教授　吉兼秀夫、第２回１月７日（土）11：10 ～ 12：20「宝探しとエコツーリズム」北海道大学特任教授　真板昭夫、第３回１月７日（土）13：20 ～ 14：30「見えない宝を探し、創り出すコンテンツツーリズム」神戸山手大学准教授　原一樹、第４回１月７日（土）14：30 ～ 15：40「ヘルスツーリズムと地域創造」大阪観光大学教授　辻本千春。**【ステップ２　地域の宝を誇り伝える観光マーケティング】**第５回１月７日（土）15：50 ～ 17：00「観光マーケティングの枠組み」大阪成蹊短期大学副学長・観光学科長・教授　国枝よしみ、第６回１月21日（土）10：00 ～ 11：10「基本となるサービスとホスピタリティの考え方」摂南大学准教授　野村佳子、第７回１月21日（土）11：10 ～ 12：20「顧客と地域人材のマーケティング」神戸山手大学教授　森山正、第８回１月21日（土）13：20 ～ 14：30「地域創造を支える観光人材の育成」追手門学院大学教授　福本賢太、第９回１月21日（土）14：30 ～ 15：40「地域における観光商品づくりと**

観光事業への活用」阪南大学教授　清水苗穂子、第10回１月21日（土）15：50 ～ 17：00「プロモーションとイベントの活用方法」神戸国際大学教授　桑田政美。【ステップ３　地域の宝を興す観光マネジメント】第11回１月28日（土）10：00 ～ 11：10「多様な主体の総合力による観光地域づくり」(株)地域計画建築研究所(アルパック)チーム長　高田剛司、第12回１月28日（土）11：10 ～ 12：20「観光マネジメントとまちづくりの計画」(株) 地域計画建築研究所(アルパック)主幹　小阪昌裕、第13回１月28日（土）13：20 ～ 14：30「事業推進のための制度の活用と資金の調達」立命館大学客員教授　金井萬造、第14回１月28日（土）14：30 ～ 15：40「地域プラットフォームの役割と展開」阪南大学准教授　森重昌之、第15回１月28日（土）15：50 ～ 17：00「地域創造型観光のマネジメント－成功事例からみる７つの原則」大阪市立大学大学院教授　小長谷一之。【最終回】第16回２月４日（土）13：00 ～ 17：30「受講生のプレゼンテーション」（講師全員）全回終了後、受講者は地域創造型観光のプロジェクト計画書を作成し、受講者全員でミニ・プレゼンテーションをしました。

（５）書籍『地域創造のための観光マネジメント講座』の刊行（NPO法人観光力推進ネットワーク関西と共編、学芸出版社、2016年11月刊、ISBN　978-4-7615-2635-1）をおこないました。【概要】A5判・216頁・定価 本体2400円＋税、15章構成。【プロジェクト経緯】1）2015年末のNPO法人理事会および関西支部幹事会で方針了承、編集委員会を設置。２）2016年１月出版社と打合せ。２）２月出版社より執筆要項提示。３）３月企画書を理事会・幹事会に提出。４）第１次原稿を５月末〆切り。６）６月理事会・幹事会で第１次原稿を検討、これをもとに出版社よりコメントを受ける。７）７月最終〆切りで第２次原稿（完全原稿）を依頼し集約、完全原稿を出版社へ入稿。８）８月初校、９）９月２校、10）10月校了、11）11月納品・出版 ⇒ *★最終ページにも写真*

（６）学生連絡協議会（学連協）の応援【学生からの報告】

１）学生連絡協議会総会

【実施日】2016年５月21日(土) 10：00 ～ 11：30【参加人数】62名（神戸国際大学、神戸山手大学、阪南大学、追手門学院大学、大阪成蹊大学）。【活動報告】新役員・幹事発表、2015年度事業報告、2016年度事業計画発表、大学間交流を行った。（アイスブレイク）共通点探しゲーム。

２）六甲山エコ活動・春

【実施日】2016年６月19日。【概要】雨天のため登山は中止。住吉川沿いの自然観察に内容変更（自由参加）。【参加】神戸国際大学、神戸山手大学、阪南大学、追手門学院大学、大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学。

３）佐用町プロジェクト「兵庫県佐用町活性化プロジェクト～５つの集客戦略の提言～」

【実施日】2016年４月～ 2017年２月。【概要】佐用町プロジェクトは佐用町町役場・佐用町商工会との産官学共同のプロジェクトで2016年４月からスタートしました。佐用町は兵庫県の西部に位置する町で、人口減少などによる活力衰退による問題を抱えています。このプロジェクトの目的は、観光の力を使った具体的な戦略を構築・提案し、佐用町の活性化を目指すことです。戦略を構築するため、佐用町の現状把握を目的に「佐用町南光ひまわり祭り」でのアンケート調査、２度の現地調査、我々が企画した「新しい食メニュー」の実証を兼ね「佐用町大収穫祭」で住民の方々との意見交換を行いました。そして、これらの調査を踏まえ、①集客、②食、③ブランド、④イベント、⑤広報の視点から具体的な戦略を構築し、2017年２月14日佐用町で行われた最終報告会にて「活性化戦略」の提案を行いました。【参加】神戸国際大学、神戸山手大学、阪南大学。

４）城崎研修会「第６回若旦那・若女将密着体験プロジェクトin 城崎」開催協力・研修参加

【実施日】2016年８月22日～ 26日。【概要】「全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部」と「日本学生観光連盟」の共同事業である「若旦那・若女将密着体験プロジェクト」の開催に協力し、研修に参加しました。このインターンシップの狙いは城崎の旅館で就業体験を行い、観光地の旅館やホテルの仕事の魅力に触れて、「働きたい」と感じてもらうというものです。観光力推進ネットワーク関西からは16名の学生が参加しました。このプロジェクトでは旅館業の魅力を感じることはもちろん、城崎という町の魅力を肌で感じることや、日本学生観光連盟に所属する学生との交流を行うこともでき、参加した学生からは好評でした。【参加】神戸国際大学、阪南大学、追手門学院大学 ⇒ ***★最終ページにも写真***

５）歴史文化体験プロジェクト・高野山宿坊体験

【実施日】2016年９月13日～ 14日。【宿泊先】恵光院。【概要】１泊の宿坊体験です。高野山は阿字観という瞑想体験や、般若心経の写経体験などの仏教体験を行うことができる観光地で、インバウンドの来訪者が増加しています。このプロジェクトには神戸山手大学、神戸国際大学、阪南大学から、合計11名の学生が参加しました。住職さんからの講話を拝聴し、写経体験などを実際に行うことで、高野山の歴史文化を体験できました。また、宿坊体験では、ホテルとの違いを味わい、精進料理をいただき、宿坊独特の体験をしました。参加した学生はほとんど初対面同士でしたが、体験を共に行い、一緒に行動することで、学生間の交流が行われました。【参加】神戸国際大学、神戸山手大学、阪南大学。

６）六甲山エコ活動・秋

【実施日】2016年11月20日。【概要】秋のエコ活動は「ブナを植える会」様の協力のもと、六甲山に植林を行うプロジェクトです。このプロジェクトは六甲山の自然を保護することで、六甲山や近辺の海と川を保護することが主な目的です。学生は自然の保護と共に「ブナを植える会」の桑田会長から六甲山近辺の自然のことを学ぶとともに、草刈と３種類の樹の植樹を行いました。JTB西日本様社員、甲南女子大学学生（２名）との共同作業・交流も行えました。【参加】阪南大学、追手門学院大学。

７）就活セミナー

【実施日】2016年11月26日、12月10日、12月17日。【会場】梅田・大阪駅前第２ビル６階大阪市立大学文化交流センター。【概要】NPO観光力推進ネットワーク・関西が主催する「就活サポート講座」を受講しました。講師は経験豊富な元企業人事の責任者で、講座のポイントは、「企業の採用戦略」、「自己の強み発見と活用の方法」でした。【参加】阪南大学、神戸山手大学。

８）学生研究発表会

【実施日】2017年２月８日。【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス。【概要】学生発表会は観光力推進ネットワーク関西学生連絡協議会に所属する学生が１年間研究した成果を発表しあう発表会です。今年は神戸山手大学、神戸国際大学、追手門大学、阪南大学、大阪観光大学の合計５大学13チームが出場しました。今年の最優秀チームは阪南大学の「HISとの共同研究～団体旅行の新たなビジネス拡大の提案～」という旅行会社との共同研究でしたが、ARを取り入れたMAPの研究や、実際にツアーを作る研究、観光パンフレットの研究など、多様な発表が行われました。【参加】神戸国際大学、神戸山手大学、阪南大学、追手門学院大学、大阪観光大学。

10. 支部新年度の予定　2017年度「関西支部総会・意見交換会、学生連絡協議会」は５月20日(土)に開催予定、会場は阪南大学サテライト（あべのハルカス）を予定。

９．支部活動７ NPO応援（６）学連協 ４）城崎研修会2016年８月22 ～ 26日

９．支部活動７（５）書籍『地域創造のための観光マネジメント講座』の刊行（右写真）

７．支部活動５『中四国現地研修会』2016年９月22 ～ 23日

日本観光研究学会・
関西支部（JITR-Kansai）
ニューズレター『観光学』
第５号（2016年度）
発　行：2017年３月10日
発行人：国枝よしみ
編集人：小長谷一之
【事務局】
阪南大学国際観光学部
森重研究室気付
〒580-0033
大阪府松原市天美南
1-108-1
gakkai@kankoryoku.jp